

(様式第8号)

事業報告書 (令和2年度)

事業名 発達障害児(者)と社会をつなぐ音楽まつりプロジェクト

団体名 支援の必要な子と親の会 たんぽぽの会 担当者名 後藤 智子

※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

●8月29日(土)13:00~17:00 トリノス 11人 スタジオ録音1

1グループに3~4人(3~4楽器)。

・13:00~準備

・14:00~15:00 健太(ドラム)、児仁井伸一(ギター)、児仁井(キーボード)

・15:00~16:00 児仁井(3等)

・16:00~17:00 後藤たかね・鈴間みこ(ボーカル)

(撮影:ポビー、サポート:後藤、鈴間)

オンラインライブに向けての音源を作るためのスタジオ録音一日目。

まずドラム、ギター、キーボードで録音。次は箏三面。そしてボーカル。

本格的な機材に囲まれ緊張しながらも真剣に演奏する姿が見られました。

映像も本職の方が制作。来週はまた楽器やボーカルを重ねていきます。



●10月11日(日)13:00~17:00 トリノス 11人 スタジオ録音②

・13:00~準備

・13:30~「贈る言葉」ギター(間地)、ベース(樽井)、ドラム(原田)、キーボード(後藤)

・14:00~「千本桜」「パプリカ」ベース(樽井)、ギター(和久田)

・15:30~「贈る言葉」ボーカル(今田)、サポート(小林)

・16:00~「千本桜」三線(トナ)、リコーダー(みほこ)

(撮影:ポピー、サポート今田父)

「贈る言葉」サポートメンバーで伴奏の音源録音。

「千本桜」「パプリカ」和久田さんは入会して間もないのですがギターが好きで積極的に参加されます。得意な曲以外の演奏は難しいようですが、今回は千本桜に挑戦されました。

はじめての場所に緊張と興味津々の今田さん、まずはトイレ。今田さんははじめての場所でもトイレがどこにあるかわかります。そして部屋をあちこちみて、スタジオに入りました。なんだかとても嬉しそうでしたが、1回目の練習は大変な緊張で、動かず1曲歌いきりました(動かず歌うことが珍しい)。あんまり長びいては疲れるかな?と思い本番。小林さんが金八先生のように、しっかりサポートしてくださいました。

本番はリラックスしてきて、いつもの今田さんでした。

「千本桜」三線(トナさん)、リコーダー(みほこさん)

今まで重ねてきた録音の仕上げ。たくさんの音の重なり、音を足したり引いたり、何回も考えて調整して下さる様子を外で録音を聴いていて感じました。

ポピーさんも、どんな編集にしようかいろいろ考えてくださっている様子。とても楽しみ



(様式第8号)

●10月20日(火)16:00~17:00 トリノス 4人 スタジオ録音③

前回体調不良でお休みだった土師君。最後のスタジオ録音、終了。

本格的な機材での録音体験。緊張するメンバーでしたが、終わってみたら、次はあの曲をやりたいなあ、と意欲的🌟



●11月23日(月祝) 8:00~16:00 岡山市立宇野小学校 体育館ライブ

8:00~機材搬入

9:00~リハーサル

11:00~昼食(宇野コミュニティハウス。サポーターさんのお弁当は準備。メンバーは希望があれば注文取ります。実費)

12:00~本番 無観客(親族、メンバーは参加できる)YouTube 配信予定

15:00 終了

15:00~片付け

16:00 片付け完了

いろいろな行事が中止、縮小の今年、ここならと体育館で無観客(親族、会員まで)ライブを企画。YouTube チャンネルを開設して配信できたら、と準備しましたが、前日カメラリハーサルしてみても、ネット環境が悪く、生配信は無理そうなことがわかりました。録画して後日配信できたら、と考えていますが、何しろ初めてのことで、予定は未定です。

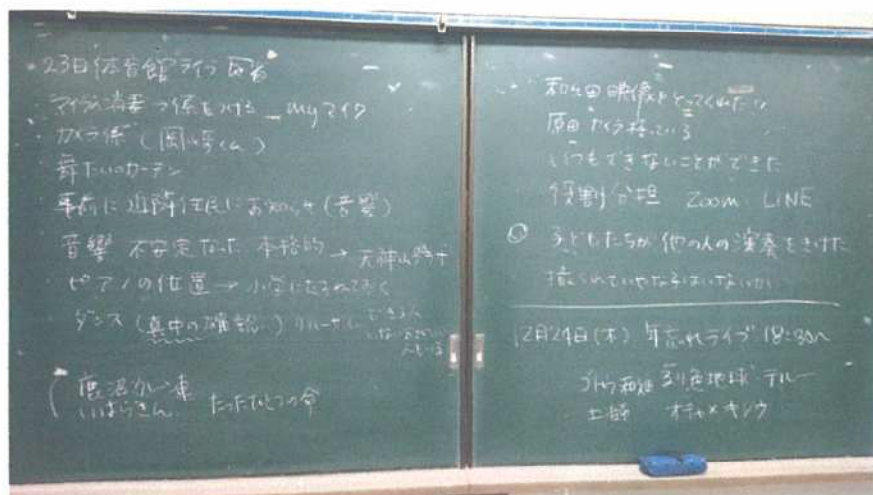
ゴジラから始まって、メンバーそれぞれのステージ。ギター、ドラム、ダンス…そして marcoさんとセッション。あきらめていたステージが無観客で実現しました。





【11月23日体育館ライブ反省】

- ・マイクの消毒の徹底→係りをつける、My マイクにする
- ・カメラ係がいたらよかった。
- ・舞台のカーテンがもう少し開くのでは？ピアノが見えなかった。
- ・事前に近隣のかたへお知らせ(音響)必要。翌日お手紙を持って回りました。
- ・音響が不安定。
- ・来年度、わくわく子どもまつり、土曜劇場(天神山文化プラザ)に申し込みしている。
- ・ピアノの位置が移動できないか、学校にたずねてみる。
- ・ダンス、真ん中の確認。
- ・リハーサル、した方がよいが、しない方がよい人もいる。本番までわからない。
- ・和久田さんが動画を撮ってくれて記録が残った。原田さんがカメラを持っている。ポビーさんに頼んでみる。
- ・体育館でライブ。いつもはできない事ができた。お互いの演奏を聴けた。
- ・打ち合わせができていない→ズーム、LINEの活用。
- ・写真、動画、撮られて嫌な子はいないか？確認が必要。



【YouTube 配信】

岡山 ESD プロジェクト参加団体 支援の必要な子と親の会たんぽぽの会 25 足歩行ほっとステーションバンド スタジオ録音に挑戦！①「千本桜」

https://youtu.be/k9_5NivsUc8

岡山 ESD プロジェクト参加団体 支援の必要な子と親の会たんぽぽの会 25 足歩行ほっとステーションバンド スタジオ録音に挑戦！②「贈る言葉」

<https://youtu.be/8pWxGVAch0Y>

岡山県文化連盟 YouTube チャンネルから配信していただきました。

<https://youtu.be/IRhfAJuXSds>

岡山県文化連盟 YouTube チャンネルから配信していただきました。第 2 弾。

<https://youtu.be/7XzN7fmflTQ>

体育館ライブ

<https://youtu.be/6hEGTxzJ2x4> marco さん

<https://youtu.be/az9ygvD0X78> バブリカ

2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ

●発達障害や自閉症の特性から、活動の制限されがちなこだわりの強い子ども（成人の方も含め）の活動を好きなこと、興味のあることから広げていく。

興味のある活動の中でできることが増える。自信もつく。自分に自信を持つことで視点を外へ向けさせ、人に喜んでもらえる体験、人とかかわることがうれしい、楽しい体験につながっていく。

●生活に困難を抱えた子（不登校、ひきこもり、虐待、貧困）もほっとできる、心のよりどころ、また安心できる外出場所の一つとなるよう、その子その子の出番を考えた。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

●3密を避け、制限される中で、何ができるか考えることができ、結果新しい活動が生まれた。オンライン練習。ユーチューブ配信。体育館での無観客ライブの後日配信。発表の場があることで自分以外の他者（社会）を意識した演奏になってきている。

●反省会の中から、次をよりよくするための改善点が出てきている。

●興味を持ったかたの問い合わせがある。

4. 今後の課題と展望

●知っている曲ではない曲にも取り組んでいく、メンバーの演奏曲と一緒に入れる機会を作っていく。個人から集団へ。

●コロナ禍の中ではあるが、発表の機会を考えていく。